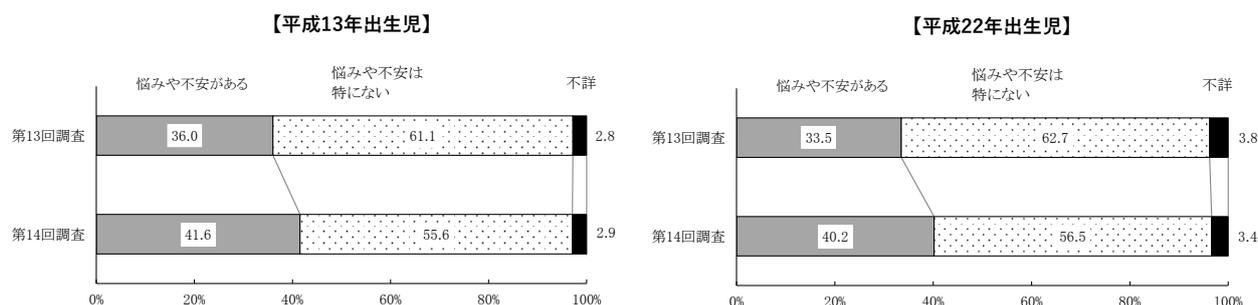


3 こどもの悩みや不安

平成22年出生児について、「悩みや不安がある」の割合は、第14回調査のほうが第13回調査より高く、特に深い悩みや強い不安の内容は「学校や塾の成績に関すること」が最も高くなっている。また、相談する相手は「お母さん」「友人」「お父さん」の順で高くなっている

平成22年出生児について、こどもの悩みや不安の有無をみると、「悩みや不安がある」の割合は第14回調査（中学2年生）で40.2%と、第13回調査（中学1年生）の33.5%に比べて6.7ポイント高く、特に深い悩みや強い不安の内容は「学校や塾の成績に関すること」が最も高くなっている。これらの傾向は平成13年出生児も同様である。（図6、表2）

図6 こどもの悩みや不安の有無の変化・世代間比較



注：第13回調査及び第14回調査とも回答を得た者（平成13年出生児 28,311、平成22年出生児 18,959）を集計。

表2 こどもの特に深い悩みや強い不安の内容の変化・世代間比較（上位5つ）

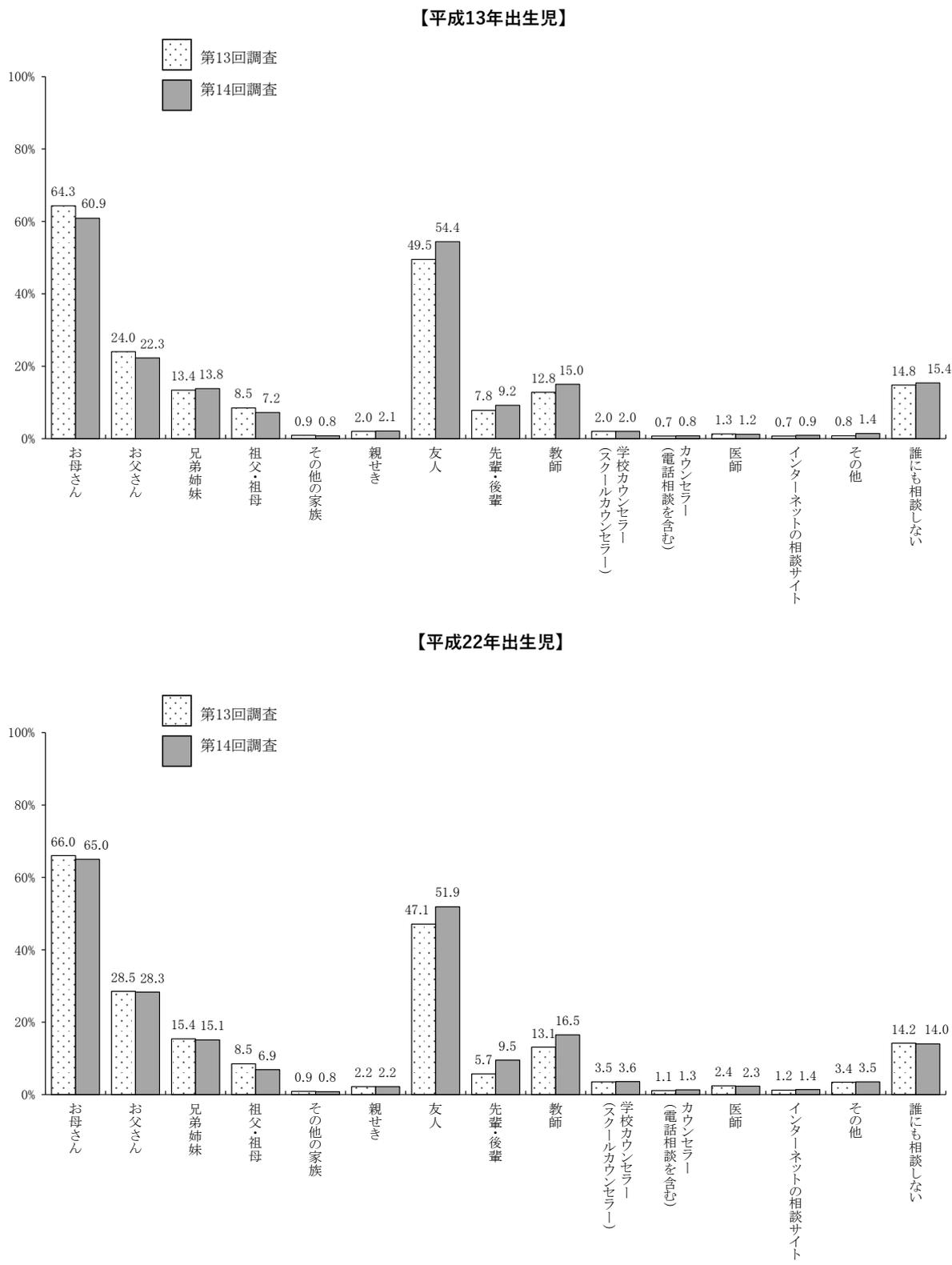
平成13年出生児		平成22年出生児	
第13回調査(中学1年生)			
順位	内容	順位	割合(%)
1	学校や塾の成績に関すること	1	23.5
2	進路に関すること	2	13.4
3	友達との関係に関すること	3	9.9
4	部活動(クラブ活動を含む)でのトラブルに関すること	4	8.8
5	自分の容姿に関すること	5	8.5
第14回調査(中学2年生)			
順位	内容	順位	割合(%)
1	学校や塾の成績に関すること	1	22.7
2	進路に関すること	2	16.0
3	部活動(クラブ活動を含む)でのトラブルに関すること	3	11.1
4	友達との関係に関すること	4	6.9
5	自分の容姿に関すること	5	6.6

注：1) 第13回調査及び第14回調査とも回答を得た者のうち、「悩みや不安がある」（平成13年出生児 第13回調査10,200、第14回調査11,766、平成22年出生児 第13回調査6,357、第14回調査7,618）と回答した者を集計。

2) 順位は各調査回における「内容不詳」を除いた順位である。

平成22年出生児について、こどもが悩みや不安を相談する相手をみると、「お母さん」「友人」「お父さん」の順で高く、なかでも「友人」は51.9%と、第13回調査（中学1年生）の47.1%と比べて4.8ポイント高くなっている。また、平成13年出生児（第14回調査）と比べると、「お母さん」は65.0%と4.8ポイント高く、「お父さん」は28.3%と6.0ポイント高くなっている。（図7）

図7 こどもが悩みや不安について相談する相手（複数回答）の変化・世代間比較



注：第13回調査及び第14回調査とも回答を得た者のうち、「悩みや不安がある」と回答した者（平成13年出生児 第13回調査 10,200、第14回調査11,766、平成22年出生児 第13回調査6,357、第14回調査7,618）を集計。